

宮川

まちづくり協議会だより



令和2年1月31日現在
【世帯数】 244戸
【人口】 男：334名
女：355名
合計：689名

発行日：令和2年2月23日
発行：宮川まちづくり協議会

特集

地域で育てる宮川っ子



竹中 忠 運営長



澤田康夫 まち協会長



清水崇司 子供会会長



桑田貞義 宮川公民館長

ありがとう
ございました



河原 勝 区長会長



中川徳彦 老人クラブ会長



山中良夫 宮川郵便局長



松尾志信さん

宮川っコイン協賛者

チームdeかるたは、この方々のワンコイン寄付によって
開催されました。感謝いたします。



宮川小学校が廃校になった後、宮川地区と宮川の子もたちとの繋がりをどう生んでいくか、また、宮川っ子としての帰属意識をどう培っていくか。この二つはこれから宮川地区が向き合っていかなければならない課題です。

今回、家の中に籠りがちになる冬に子どもたちが取り組むものとして、「かるた(百人一首)」を選びました。しかし、宮川地区の子どもたちは長い間かるたから離れており、ルールを覚えるところから始めました。はじめは「負けるからやりたくない。」と言っていた子は、どうなったのでしょうか。

練習 1 回目

1月19日(日)

かるたのルールを
復習しよう!



並べ方や札送りなど、ルールについて説明し、実際に20枚を10枚ずつ分けて試合。途中で何度もルール説明。

スタート!

練習 3 回目

2月2日(日)

試合形式で
やってみよう!



この日は大会当日と同じ40枚を使って試合。札が2倍の量になったので子どもたちは戸惑いつつも、真剣でした。

いつも
ありがとう



練習後、児童館の谷川さん特製ぜんざいがふるまわれました。脳を使った後の甘味に喜ぶ子どもたち。

練習 2 回目

1月26日(日)

みんなで楽しく
かるたの練習



この日は前回と違う札20枚で2試合。子どもたちは「むすめふさほせ」の一枚札を意識するようになりました。

チーム de かるた大会

2月9日(日)

会場 旧宮川小学校



かるた大会終に、保護者や
地区の方から寄せられた感想



桑田公民館長から、「宮川小学校ではもともと縦割りで年上の者が年下の子の面倒を見てきました。今日は勝つことが目的ではなく、チームでみんな仲良く取り組んでください。」と開会の挨拶がありました。

ゴール!



みんな。最初は練習には行くけれど大会には出ないと言っていた子も、体調が悪くて練習に十分には参加できなかった子も、この日最後まで頑張り、「負けたけど、楽しかった!」という感想を伝えてくれました。

練習を重ねるごとに子どもたちの熱意が上がってくるのを感じました。みんながいるから苦手な事にも頑張って挑戦できてよかったです。ありがとうございました。M

全部負けたけど楽しかったみたいで、「またあったら行く〜。」と言っています。当日大会へ行く前は消極的だったのですが、お菓子ももらって大満足でした。食わず嫌いというか、何事も経験ですね。チーム戦というのも良かったです。M

練習も含めて、ありがとうございました。娘は帰ってきてから、「自分が優勝できたことに何回も驚いたし嬉しかった。」と喜んでます。T

最初は緊張していたけれど、大会後「また来年も頑張って今度は一位になりたいなあ。」と言っていました。実家に眠っていた百人一首を探して、今は坊主めくりをしたり札を読んだりしています。このような機会を作ってください感謝しています。K

15名もの参加があったことに驚きました。都合で練習を休んだ子への公民館の個人練習やご家族の温かい励ましのお蔭だと思いました。

子どもは心も頭も柔らかく、何でも吸収できます。今がそのチャンス!来年も多数の子どもが集い、かるた大会ができますように。M

チャンネルOを見ました。子どもたちの楽しそうな光景が印象的でした。今後とも長く続けて欲しいです。T

2月2日(日) 児童館主催 バレンタインリースチョコ作り



児童館とコラボして、かるたの練習前にバレンタインのリースチョコを作りました。低学年の子たちを中心に、溶かしたチョコを糊にして折ったポッキーをくっつけてリースを作り、それが固まる間にかるた練習。一石二鳥でした。

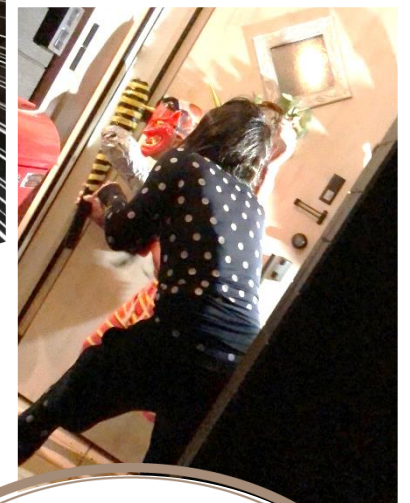
青年倶楽部 present

あなたのお家に 鬼が来る！

申込料 300円
(衣装代に充てます)



2人で5軒を回るのは、時間的にも体力的にもちょっと厳しいということが分かったので、来年もし希望があるなら、鬼の数を増やして二手に分かれて回りたいな。



お父さんを
連れて行かないで！



あるご家庭では、鬼が来た翌日からトイレトレーニングが成功したそうです。鬼パワー、すごいですね。

初めての企画だったので、内容がよく分からなかった親御さんもおられたのでは。好評なら来年は時間帯ももう少し早くするので、その時はぜひ申し込んでください。

この日の様子は福井新聞やチャンネルOに取り上げられました。来年もぜひして欲しいというご家庭があれば、青年クラブまでぜひリクエストを！



竹中 裕一青年クラブ代表

宮川地区でこんなことがありました

1月27日(月) 新保区「なまくさ汁」取材



新保区のお二人が関東ローカル局(フジテレビ系列)の取材を受け、新保区に伝わる郷土料理「なまくさ汁」を作ってくれました。



私も初めて食べたのですが、なまくさは何もなくて、栄養満点で美味しかったです。2月17日(月)の福井新聞にもなまくさ汁が取り上げられていましたね。

1月下旬 旧宮川小学校2階 男女トイレ改修工事完了



かねてから地区で市に要望していた、避難所に指定されている2階の男女トイレが一器ずつ洋式化されました。

1月28日(火) 第8回宮川小学校 跡地利活用検討会(最終回)

この日、まず前回の検討会以降の経過報告がなされました。その後、昨年7月に市に提出した利活用計画の報告書に追加修正したものを市に再提出して、平成27年度から続いた宮川小学校利活用検討会は解散されることが確認されました。

2月9日(日) オイケモノ神事 (加茂神社)

旧暦の1月16日に当たるこの日、加茂神社氏子たちによって例年通り国指定無形民俗文化財である「オイケモノ神事」が執り行われました。



今年弓を射ったのは、由里駿翔くん。

加茂区長の東哲司さんが「上の宮」に生える神木の根本から「物実」の^{ものざね}に入った箱を掘り出し、その芽立ちを判定しました。



マクラメ ハンギングづくり

1月25日(土)

講師: PLUS SPOT
オーナー河嶋理恵さん



いずみの会 冬の親睦会

春の親睦会に続き、今回は旧宮川小学校においてワークショップを行いました。初めてのマクラメハンギングづくりに皆さん四苦八苦しながらも、講師の河嶋さんに助けをもらいながら2時間じっくりと取り組みました。最後は何ともお洒落な作品が出来上がり、みなさん大満足!最後に PLUSSPOT の素敵な商品も購入しました。



「自分がこんなに不器用だとは思わなかった(笑)でも、こうやって手先を使ってじっくりと取り組む時間は必要だなと思いました。」(kさん・大谷区)

♥オフショット♥



袴姿で格好いいですね。

おつかれ
さまでした!

お知らせ

古紙回収コンテナ設置場所が変更になります！



この辺りに設置予定

地区のみなさまには日頃から古紙回収事業にご協力いただきまして、ありがとうございます。

現在、古紙回収コンテナを(株)若狭の恵の事務所横に設置させてもらっていますが、今後そのスペースを使用できなくなりました

そこで、3月から古紙回収コンテナを旧宮川小学校敷地内プール横(アルミ缶回収場所奥)に移動します。移動後は地区内放送でお知らせしますので、よろしくお祈りします。

なお、宮川小学校の閉校後は小学校に代わって地区子供会がこれらの回収事業を管理しています。その収益は宮川っ子のために積み立てられており、これから必要になる様々なことへ使われる予定です。

お願いします

分別ルールを守って

資源回収にご協力ください。

3月の行事予定

- 12・26(木) 小浜病院巡回診療日 (14:00~、宮川公民館)
- 17(火) すこやかクラブ定例会 (10:00~、宮川公民館)
- 17(水) 卒業式 (小浜美郷小学校)
- 25(水) 卒園式 (宮川保育園)

3月の休館日

- 2(月)、9(月)、
- 15(第3日曜)、16(月)、
- 20(金・祝日)、23(月)、30(月)

市老連 芸能祭

3月14日 10:00~
場所:小浜市文化会館

宮川地区老人クラブが出演!
入場チケット(有料)が必要です。
ご必要な方は公民館まで。

成人大学講座のご案内

通訳案内士から学ぶ
「おもてなしの心
~外国人に伝わる地域の
魅力の紹介方法~」

日時: 3月18日(水)
14:00~15:30

場所: 中央公民館 2階ホール
(大手町5-31)

講師: 全国通訳案内士
生島 あゆみ 氏

どなたでも入場無料。
お問合せは生涯学習スポーツ
課(0770-64-6033)まで。

編集後記

もうすぐ宮川小学校が閉校して早1年が経とうとしています。宮川小学校が無くなってしまったら、宮川っ子同士の繋がりまで無くなってしまわないか…。そんな思いを抱いておられる地区の方も多いのではないでしょうか。

そんな思いがあったから、今年初めての取り組みに対して、何名もの地区民の方々が協力してくれました!「企画者自身が楽しめて」「宮川地区が元気になる」企画を立て、それに「ちょっとだけ」時間を割けば、できることが色々あるということが分かりました。「無いのなら 作ってしまえ 地区のため」。

広報紙予算の関係で、今月号は(今年度最後の)カラー印刷です!(Y)